

# 史 観

## 第 144 冊

平成13年3月

### 目 次

---

近世前期日朝関係における「図書」の使用実態……………	米 谷 均…	( 1 )
石橋湛山の中国論の再検討 ——自己責任の視点から—— ……………	上 田 美 和…	(16)
冊命形式金文に見る周王と服属諸氏族の結合原理……………	岡 本 真 則…	(32)
第一次革命前ロシアの農民統治問題と内務省 ——農民法改訂とゼムスキー・ナチャーリニク制度改革を手がかりに—— ……	草 野 佳矢子…	(49)
多鈕粗文鏡について……………	宮 里 修…	(65)
北方におよぶ「サマツラ土器」 ——共伴土器と器種組成からみたその展開—— ……………	小 高 敬 寛…	(85)
洞富雄先生のご逝去を悼む……………	由 井 正 臣…	(112)
水野祐先生を悼む……………	瀧 澤 武 雄…	(114)
彙報……………		(118)

---